

一般家庭や農家に化石燃料を使うストーブの代替としてペレットストーブを普及することで木質ペレット燃料の利用を促進し二酸化炭素の削減を行う。クレジットの販売によって得られる収益は森林保全のために活用される。

プロジェクトの実施場所	宮城県、東京都、長野県などの一般家庭など
削減量(予測)	年間 20t-CO2
在庫量	0 t-CO2(2012年7月時点)
クレジットの次回発行予定	2012年 12月
1t-CO2あたりの希望単価	¥10,000

全国の一般家庭や事業所にペレットストーブの普及を進め低炭素循環型社会の実現を図るプロジェクトです。ペレットは全て製材所で発生する国産材の端材を原料にしているためエネルギーの自給につながります。またペレットの流通が拡大することで新たな雇用が生まれ、地域経済の活性化も見込まれます。

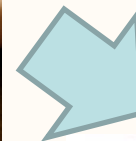
クレジットの販売によって得られた資金は宮城県大崎市の川渡温泉にある「エコラの森」での森林整備の資金に当てられ、本プロジェクトを通じてペレットストーブのユーザーが間接的に森へと恩返しすることが可能になります。



ペレット燃料



クレジット販売益を森へ還元



ペレットストーブ



■担当者連絡先

NPO法人日本の森バイオマスネットワーク 唐澤晋平
TEL:0228-22-6721 メール:office@jfbn.org